

アジア・チャンピオンズリーグの新聞記事

岡田 悠太郎 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 後藤 英文

キーワード：アジア・チャンピオンズリーグ，Jリーグクラブ，新聞記事

1. 緒言

アジア・チャンピオンズリーグ(以下ACL)とは、アジアサッカー連盟が主催するアジアのクラブチーム No.1を決める大会である。サッカー日本代表や J リーグの報道と比べると、ACL は取り上げられ方が少ないと感じる。日本勢の成績をみると 2008 年にガンバ大阪が優勝して以降タイトルを取れていない。近年の ACL での成績がメディアに取り上げられる量や大きさに関係しているとみるのが妥当だろうが、ACL 自体を日本のメディアはあまり重視していないのだろうか。それとも他の要因があるのだろうか。

本研究はサッカー記事の中での ACL の位置を明らかにし、新聞記事でどのように展開されているのか、また大きく取り上げられるための問題点を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

1) 調査方法

・紙面調査

ACL 第 1 回大会の 2003 年から 2006 年、J クラブ優勝時の 2007、08 年、タイトルのない 2009 年から 2015 年までの新聞記事を調査。

・インタビュー調査

自由回答形式で ACL 報道に関する質問を用意し、臨機応変に質問を追加した。

2) 調査対象者

新聞社サッカー担当記者

通信社サッカー担当記者

ベテランサッカー記者

3) 調査時期

2015 年 8 月～11 月

3. 結果と考察

紙面調査の結果、2003 年から 2006 年の新聞記事は、日本代表や J リーグの記事と比べて小さい結果となった。大会当初ということもあり認知度が低く、そこに結果も伴っていなかったからと考えられる。2007、08 年の記事は開幕前日も大きく、勝ち上がるに連れ大きく取り上げられる結果となった。日本サッカー協会が ACL サポートプロジェクトをつくるなど力を入れ始めたことが記事にも影響している。2009 年以降は勝てばもちろん、敗れても大きく載ることがあったがタイトルが取れないことで関心が薄れ記事にばらつきも見えた。

インタビュー調査の結果では、サッカー記事の中での ACL の位置は、今はどうしても日本代表、J リーグの次にくるということが分かった。「アジアとの試合でしょ」という認識がまだあること」や、「この大会そのものがまだ一般の人にあまり馴染みがない」という意見からは、勝敗以外の関心度が高まっていないことがうかがえる。

4. 結論

勝敗以外の内的問題として ACL に対する期待感や関心が新聞記事を大きくするポイントだと考えられる。そのためには各 J クラブが ACL に対して強い意識を持ち、メディアにアピールする必要がある。

引用・参考文献

N 新聞 2003 年 3 月 13 日朝刊

大住良之 (2015) ACL “J リーグ勢苦戦” 本
当の理由. 渡辺拓滋編 サッカー批評. 双葉社

Y 新聞 2009 年 3 月 11 日朝刊